令和3年度 かほく市立大海小学校 学校評価 (前期結果) R3.10.1

重点目標	具体的取組	担当	現状	指標	評価の観点	達成度判断基準 (A+Bの割合で判定)	判定基準	備考 実施時期・対	児童の評 価	保護者の 評価	地域の方の評価	教員の評価	達成度判断	改善策	学校関係者評価者による意見
184	★国語科・算数	1	評価テストにおいては良好であ		漢字テストで8割以上できる	漢字・計算の評価プリントで80%		象毎学期末	漢字テスト 88%	. u i luul	->uT IШ		D	・全員が基礎・基本を身に付けて9割以上を取ること	
	科の基礎学力の 向上を図る		るが,個人差があり,支援が必要な児童がどの学年にもいる。	PX	る 計算テストで8割以上でき る	以上できる児童が80%以上	C:70%以上80%未満 D:70%未満	毎字期末 (児童)	計算テスト 90%				В	ができるように、継続して 補充を行う。 - - ・家庭学習がんばり週間	・タブレット端末を家庭に持ち帰った時の様子を見ると、子ども達は、学習の道うとして認識できているようで、ネットラブルやいじめの事案につながらないよう
確 2	★家庭学習の習 関づけを図る (10分×学年)		家庭学習への意識づけはしてき たが、主体的・習慣化という面 では十分とは言えない。	以里	学年に応じた家庭学習の仕 方が定着し、進んで取り組 んでいる	10分×学年の時間をクリアした割合が90%以上	A100% B:90%以上100%未満 C:80%以上90%未満 D:80%未満	6月から毎月 がんぱりカード 7月,12月	がんばりカード 96%				В	・家姓学音かんはり週間以外でも時間を意識して取り組めるように声かけを行う。	
かな学力の育成と出						児童・保護者アンケート「自分で計画を立てている」で80%以上	A90%以上 B:80%以上90%未満 C:60%以上80%未満 D:60%未満	児童・保護者ア ンケート	94%	81%			В	・計画を立てて学習すると はどういうことかを適宜伝 え、習慣化できるよう指導 する。	
	★アクティブ ラーニングを取り り入れるが分かる。 人一人が分かるよう 授業とと改善に努める	学習指導	自分の考えがもてなかったり、 主体的に学び合えなかったりする児童がいる。教員主導で、主体的な学びとなっていないこと	りす 努 ガ ガ ボール ガ ガ ガ ガ ガ ガ ガ ガ ガ	児童の弱点克服のため、研究の重点目標をもとに、授 業改善を図っている	教職員のアンケートで90%以上	A100% B:90%以上100%未満 C:80%以上90%未満 D:80%未満	7月 、 12月 (教職員)				100%	Α	・日頃から学習内容の定 着の徹底を図り、学習の 定着がテストの結果でも 実感できるようにする。	
小中連携		部	がある。分かる授業づくりに向け、研究の重点をもとに共通理解を図り、共通実践となるよう取り組んでいる。	満足	児童の理解度や分かる授業 への手立てが児童や保護者 に実感できている	児童・保護者アンケート「学習内容 が分かっている」で80%以上	C:70%以上80%未満 D:70%未満	7月, 12月 (児童・保護 者)	国語 99% 算数 93%	国語 95% _{算数} 89%			В	・児童にとって楽しい授業 となるように, 英語アシス タントと連携するとともに,	に, 正しい使い方ができる ように指導していってほし い。
充実	小中連携の推進 を図る		児童・生徒の交流事業, 教職員 の研修の推進を図る必要があ る。		校区内小中連携を意識した 取組を学期に1回以上行う	交流事業や教職員の研修の回数が8 0%以上	A90%以上 B:80%以上90%未満 C:70%以上80%未満 D:70%未満	毎学期 (教職員)						教師の指導力向上を目 指す。	
(5	★英語活動の充 実を図る		英語アシスタントと連携し英語 に親しむ活動をしているが、さ らにその充実を図る必要があ る。	努力	英語活動に興味関心をも ち、楽しい授業になるよう に創意・工夫をしている	児童アンケートで80%以上 教職員アンケートは90%以上	A90%以上 B:80%以上90%末満 C:70%以上80%末満 D:70%未満	7月. 12月 (児童・教職 員)	92%			100%	Α	・GIGAスクール構想の実 践について積極的に情報 交換を行い、共通理解を 図っていく。	
6	読書に親しむ習 慣化を図る		毎月23日前後に親子読書の日 を設定しているが、学年によっ て差がある。	成果	読書目標(各学年の設定)	年間 次の数値以上 低:200冊 3年:5000P 4年:7000P 5年:9000P 6年:10000P	A80%以上 B:50%以上80%未満 C:30%以上50%未満 D:30%未満	7月 , 12月 (児童)	87%				Α	・うち読を利用したり必読 書を設定したりするなど、 本を読む機会を多く設定 する。	
T	学力向上に向け ロードマップをも とに組織的に取り 組む	, alegán	計画をもとに各リーダーが中心 となって改善しながら推進して いる。	努力	一人一人が参画意識をもっ て学力向上に向けて自分の 役割を遂行している	教職員アンケートの実施で90%	A100% B:90%以上100%未満 C:80%以上90%未満 D:80%未満	7月 , 12月 (教職員)				100%	Α	・学力向上の取組について、授業チェックシートの活用やOJT研修を行っていく。	・トンネルアートやグラウンドゴルフ体験、防災学習など、外部人材を活用した活動が、児童によい刺激を与える機会となっている。 ・勤務時間の削減が進んでいて、安心した。さらに継続していってほしい。
学 校 ®	地域素材をいか した学習に積極	教務部・覚	学校コーディネーターを活用 し、地域の人材や素材を取り入 れた授業が定着し、児童の関心 意欲も高まってきた。地域の人 材や素材を生かした学習を円滑 に行っていくためにも、連絡調 整や新たな地域人材を探すこと が必要となってきている。	9 対象		教職員アンケートの実施で90%	A100% B:90%以上100%未満 C:80%以上90%未満 D:80%未満	7月,12月 (教職員)				100%	Α	学習体験とするために目	
組織力	的に取り組む	学校コープ				児童アンケートの実施で80%以上	A90%以上 B:80%以上90%未満 C:70%以上80%未満 D:70%未満	7月 , 12月 (児童)	98%				Α	指導や自己の変容に気 づかせる振り返りを行う。	
が強化	家庭・地域との協働による学校運営協議会の充実を図る	ネーター	学校運営協議会の運営をより一 層充実させる必要がある。		し,積極的に学校コーディ ネーターや学校運営協議会	教職員アンケートで80% 委員アンケートの実施で80%以上	A90%以上 B:80%以上90%未満 C:70%以上80%未満 D:70%未満	7月、12月 (教職員・委 員)			100%	100%	Α	いた活動となるように見	
10	★業務内容の改善)に努め、時間外勤 務の削減に努める		時間外勤務の改善意識は高まってきたが、休日出勤も多い。	努力	県全体で行っている勤務時 間調査における勤務時間が 昨年度を下回る	勤務時間調查	A:-10%以上違成 B:-9%未満昨年度より削減 C:昨年同様 D:昨年比十	7月 、 12月 (教職員)				-21%	Α		
634	★あいさつを通 して他者との関		学校でのあいさつは元気にでき るようになっているが、地域で	成果	家庭や地域であいさつする 習慣が身についている	三者のアンケートの評価の割合が8 0%以上	A90%以上 B:80%以上90%未満 C:70%以上80%未満 D:70%未満	7月、12月 (保護者・児 童・地域)	99%	97%	100%		A	・挨拶については、学校 内・外、友達・先生・地域 の人に関わらず、「いつで も、だれにでも」を継続し	±・地域 「いつで F継続し
	わりを持たせる		るようになっているが、地域でのあいさつが定着していない。		学校内でお客さんに出会っ たときにあいさつができる	児童・教職員アンケートの結果が9 0%	A100% B:90%以上100%未満 C:80%以上90%未満 D:80%未満	7月、12月 (児童・教職 員)	98%			100%	В	て指導していく。また、児童会の取り組みとつなけながら、児童が自ら向上しようと思えるような取り	
いじめ			いじめや不登校の事案は少ない。小さなトラブルについても、早期対応している。今年度もスクールカウンセラーを活用していく。	成果	で家庭との連携を図り、問題解決できるようにしている	教職員アンケートの結果が90%以 上	A100% B:90%以上100%未満 C:80%以上90%未満 D:80%未満	7月 , 12月 (教職員)				100%	Α	組みにしていく。・いじめについての未然防止や早期対応の実態	・真面目で素直なところが 大海児童の良い所だが、自 行用感の低さが以前は 見られた。「先生に認めら れている」「自分にはよいと ころがある」で肯定的な回 ※が多く、安心」と、これか
· 不 登	★いじめ・不登 校など問題行動 の未然防止に努 める	生				S:「いじめはどんな理由があって もいけないと思う」「いじめをして いない」が90%	A100% B:90%以上100%未満 C:80%以上90%未満 D:80%未満	7月、12月 (児童・保護 者)	100%				を、各種おたよりやホ	を、各種おたよりやホームページを活用して、保護者等へ発信していく。	
校や問題行		土徒指導部				P:「学校のいじめの未然防止や早 期発見の取組が伝わってくる」が8 0%以上	D:70%未満			90%			Α	・自己有用感を高めるため、これからも児童間の関わり、児童と教師間の関わりの中で、自分の良	
行動の防	★特別支援教育		周りとうまくコミュニケーショ ンを取ることが難しく、友達と・ トラブルを起こす児童がいる。		特別支援コーディネーター 及び校内支援体制を活用し ながら、一人一人が自己 用感を感じ、認め合える学 級づくりに努めている	教職員アンケートの結果が90%	A100% B:90%以上100%未満 C:80%以上90%未満 D:80%未満	7月,12月 (教職員)				100%	Α	さに気づけるような支援・しかけを行っていく。 ・道徳教育においては、 今後もGTを大いに活用した授業を考えていくと同時に、授業で考えていくと同時に、で常では傾項目を常に意識した授業づくり	答が多く、安心した。これからも、たくさんの目で見守っ ていってほしい。
止と特別	"の推進に努める					S:「自分にはよいところがある」 が80%以上	A90%以上 B:80%以上90%未満 C:70%以上80%未満 D:70%未満	7月 , 12月 (児童)	96%				Α		・コロナ禍であまり声を出せない状況のためか、全体的
支援教育	豊かな心を育む 道徳教育の充実		道徳的判断力・実践力の弱い児 童がいる。	努力	GTや地域の素材を生かした道徳教育を行うとともに、道徳的な判断力・実践力を高めるようにする	S:「道徳の授業で価値項目について考えている」が80%以上 下道徳の授業を年1回以上公開し、 道徳使りや学年使りで保護者に取組 を啓発するが100%	B:80%以上90%未満 C:70%以上80%未満 D:70%未満	7月、12月 (児童・教職 — 員)	97%			100%	Α	をし、児童の考え方の変容をしっかりと見取っていくことや価値づけていくことを意識していく。	に挨拶の声が小さいことが 気になる。高学年は元気に 挨拶できている児童が多い ので、下の学年にも波及し
・ 心 の	を図る			成果		を答弁9 るか100% また、年間1回以上GTを活用した授業を行う	A100% B:90%以上100%未満 C:80%以上90%未満 D:80%未満			97%			В		ていくとよい。また、地域への挨拶ができるように、挨 拶することの意義をしっかり 指導してほしい。
教育の充実	異学年活動を推 進し、活力ある 学校づくりをす	特別活動部		満足	学級活動や学校行事などに 楽しんで企画したり参加し たりしている	アンケートの結果が、児童が80% 以上・教職員が90%以上	C:70%以上80%未満 D:70%未満	7月、12月 (児童・教職 員)	100%			100%	Α	・子供が毎日、学校に行く ことが楽しいと実感できる ように継続して肯定的な 声かけをする。 ・運動会の練習や本番を 通して、達成感を味わうこ とができるように教師が 良い面を見つけて価値づ ける。	
			異学年活動が遂行されており、 高学年としてのリーダー性を高 め、 異学年のグループをまとめ る力の伸長に努めている。	成果		S:「毎日学校に行くのが楽しい」が90%	A100% B:90%以上100%未満 C:80%以上90%未満 D:80%未満 A100%	7月、12月 (児童・保護 者)	95%				В		
	ి క					P:「子どもは学校に行くのが楽しい」が90%以上	A100% B:90%以上100%未満 C:80%以上90%未満 D:80%未満 A90%以上			93%					
#	★家庭と連携 し、生活習慣の 定着を図る		朝ご飯の意識は高まってきた。 その他の健康管理への意識につ いては、家庭によって差があ る。	満足	進んで人の役に立つことをしようとしている	児童アンケートで80%以上	B:80%以上90%未満 C:70%以上80%未満 D:70%未満 A:90%以上	7月 , 12月 (児童)	98%				Α		
生活習慣の定着と運動		保			身の回りの清潔に自分で気 をつけ取り組んでいる 食に関する指導計画をもと	毎週水曜日の清潔検査で80%以上	B:80%以上90%未満 C:70%以上80%未満 D:70%未満 A:90%以上	毎週水曜日 (児童)	(児童) 90% A	・早起きはできているが、 早寝ができていない児童 が各学年に見られる。理					
		健安全部		東成	に, 養護教諭等と連携して食	児童・保護者アンケート「朝食を毎日食べている」が80%以上	ASO-MALE BSO-MALE C-70-MALE D-770-MA A-90-MALE BSO-MALE BSO-MALE BSO-MALE C-70-MALE D-70-MALE D-70-MALE D-70-MALE D-70-MALE D-70-MALE D-70-MALE	7月、12月 (児童・保護 者) 毎月第2週 (児童・保護 者)	97%	100%			A	由は習い事やテレビ・ ゲーム・動画視聴など 様々である。日頃の指導	・早寝や節度あるゲーム・
			ె			学校独自の「はっぴ〜貯金」の調査 で就寝時刻を守ることが5日間のう ち4日以上できたが80%以上			97%	朝食 99% 早寝早起き			A B	や保健だより等で、今後 も情報発信や働きかけを 続けていく。	動画視聴など、家庭と連携
能	★児童の体力・ 運動能力の向上 を目指す	特別活動	体力テストの結果は良好ではあるが、一部運動能力が県平均と 比べて劣っている種目がある。	努力	各学年で決められたスポ チャレの内容や目標値に向 かって取り組んでいる	学期毎にスポチャレ記録回数の更新 数を各学年2回以上にする	A:12回以上 B:10回 C:8回 D:6回	毎学期	86%	84%		0回 _{更新}	ַם	・コロナ感染対策に配慮し ながら, できるだけ実施し ていく。	